

市民と市長のふれあいトーク(地域開催) 開催概要

会場 由木中央市民センター
日時 令和6年(2024年)10月19日(土)
19時00分～20時30分
発言者 5名 参加者 15名

No	参加者発言要旨	市長発言要旨
1	街路樹の剪定、除草の回数を増やすとともに、豊かすぎる緑をダウンサイズやデザイン変更してほしい。 私有地からはみ出した樹木の剪定について、広報や町会回覧板で周知してほしい。 植栽により幅が狭くなった歩道は、植栽部分を埋めて幅を広げてほしい。 歩道のひび割れや薄くなった道路白線の点検、補修をしてほしい。 自転車用ナビラインを設定してほしい。 滑りやすい歩道タイルを交換してほしい。 団地に歩道へのアプローチライトを導入してほしい。 多摩市の道路や公園樹木管理を参考とした取組を行ってほしい。	刈込、草刈り、清掃等の管理は定期的に行っている。 公園の倒木など、市民への影響が想定される樹木は順次強剪定を行っている。 引き続き、皆様が安全に使用できるような管理を行っていく。 私有地の樹木に関する周知については、町会自治会の協力をいただけるよう調整する。 歩道の幅員やタイルについては、様々な意見があるので、皆様が合意できるような街並みを作っていきたいと思っている。 自転車用のナビマークについては、道路の改修工事にあわせて整備している。 アプローチライトについては、各集合住宅で設置しており、現時点では市として整備する状況にはない。 多摩市の取組については、参考にさせていただく。
2	住民税非課税世帯への臨時特別給付金に関するコールセンターについて、なぜ市が直接運営せず、委託するのか。また、なぜコールセンターの電話が福岡の事業所につながるのか。	市で実施できない業務については、委託をすることがある。 詳細は後日ご説明させていただきたい。
3	市営駐輪場において、特例特定小型原動機付自転車を原動機付自転車ではなく、自転車として取り扱ってほしい。	新しい区分であるため、間違いがないよう、できる限り分かりやすい表示を心がけていく。
4	ニュータウン地区は、野猿峠を境として、コミュニケーションや文化、経済圏が分かれている。 行政の支援に甘んじることなく、民間の力でまちづくりをしていく必要があると考えている。	ニュータウンに住んでいたので共感できる。 当時は生活圏として多摩市や相模原市の図書館を利用していた。 多摩市や相模原市と連携に向けた話もしているところである。 ニュータウンの再生に向けては、東京都と連携して取り組んでいく。
5	南大沢は、市域の端にあるからこそ、相模原市や町田市、多摩市など、他市との接点を持つことができている。また、緑が多く土地が広いという点も魅力であり、近隣市から人を集めやすいのではないと思う。スポーツやアートを取り入れて他市とつながると良いのではないか。 八王子には織物という文化があり、日本の誇りと思っているものだと思う。染物屋などの職人が絶やさないようにしているものを活かしていただきたい。	アートは八王子の魅力の1つであり、子どもたちの教育においても求められている。 また、バスケットボールやサッカーで地域に根差したプロチームが活動し、地域住民と触れ合っている。 八王子の伝統文化に、ニュータウンでも触れられるようにしたい。伝統文化をPRし、スポーツとのコラボもやっていきたい。